

# 救護車

救護・収容担当者は AED 講習受講者で構成

A 班 2 名、B 班 2 名 計4名～

途中、リタイアした選手を乗せて関門エイドまで搬送します

(いなか浜・栗生生活館・尾之間)

関門エイドからは回収車で大会会場まで乗せて行きます

車には必ず「AED」と「毛布」を完備させておきます

## 携帯電話の繋がらない西部林道では以下のように対応

先頭選手を牽制しながら永田漁港入口に車 2 台で待機

先頭の選手が永田漁港入口を通過しておよそ30分後に 1 台が西部林道に入っていきます  
走行スピードは30km/h 以下でお願いします

西部林道で選手を追い抜く時は窓を開け10km/h 以下でお願いします

選手もその車は収容車である事を分かるようにしておくのでリタイアを告げてくる事があります  
窓を開け、選手の声を逃さないよう注意して下さい

30 km/h 平均で走行すると永田漁港入口から大川の滝までおよそ 45 分です

1 台目の車は大川の滝で折り返して西部林道へ再び入り、最終の選手と会った地点で折り返します。若しくは最終の選手が来るまで永田漁港入口で待機。

最終の選手を牽制しつつ、栗生生活館まで来て下さい

スーパースピーカーが付いていますので無線で連絡を取りながら行動出来ると良いと思います

2台目の車は1台目が出発してから45分後に西部林道へ入って下さい

大川の滝を經由して栗生生活館で 1 台目の車が来るまで待機

エイドや荷物の出し入れなどのお手伝いが出来たらお願いします

1 台目の車が到着したら各エイドを經由して会場に戻ります

エイドでは 10 分ほど待機して、次のエイドに向かいう流れを取ります

1 台目の車と重ならないよう連絡を取り合っただけで動いて下さい

リタイア選手が出た場合、必ず本部へ連絡を入れて下さい

上記の内容は基本となる行動パターンです。無理が生じる事もあると思います

全ては班長の指示に従い現場優先で行動して下さい